

第65号  
北海道  
神道青年協議会  
平成28年3月31日

ファシリテーションを説明する山田佳代子先生

ファシリテーションとは、会議やミーティング等の多様な場で多様な人々が協働し合うためにメンバーに発言や参加を促し、話の流れを整理し参加者の認識の一致を確認したりする行為です。今回はメンバーやチームの力を引き出すようサポートをするリーダーの機能を担うコミュニケーションスキルを高める内容を中心に行われました。

平成二十八年二月十五日、平成二十七年北海道神道青年協議会新春研修会が道内各地より四十三名の会員出席のもと、北海道神社庁に於いて開催されました。  
研修会は次世代継承委員会の主旨により、「成果の出る会議の進め方」と題し、講師としてOFFICE GLORIOUS代表の山田佳代子先生をお招きして御講義を戴きました。  
研修会では協働で相互の意見を出し合うため、会員を七つのグループに分け、創造的課題解決創造技法であるファシリテーションスキルを学ぶ体験型の形式となりました。



時間内に相互の意見を基に実践

まず講義では、一束程のストーリー一つのハサミだけを使い高さを競うストローク対決と三十枚ほどの紙だけを使い高さを競うペーパータワー対決をグループ別対決で行いました。いきなり始めたストローク対決とは違い、どのように高く

「平成二十七年  
北海道神道青年協議会新春研修会」  
於  
神社庁 手稲神社 出仕 進藤 丈直

するかを考える時間を取ったペーパータワー対決では、集団でアイデアを生み出していく「ブレインストーミング」を行い、チームワークやパフォーマンスの向上を体験しました。

そうした現代において若い世代の私達はファシリテーションを、今後ますます大事な能力の一つとして使っていかななくてはならないのではないかと感じました。

また、話し合いの内容をホワイトボードや模造紙などに文字や図形などを使って分かりやすく表現し、「議論を見える化」する技法である「ファシリテーション・グラフィック」では、ある議題を基にグループごとに意見を一致させるコンセンサスワークを行い、会員一同が熱い討論を繰り広げるなか、最終的に各グループで一つの答えを導きました。

昨今の価値観の多様化によって様々な人々と折衝、協働する場が増えていく中で、自分一人の力で完結できることは少ないと思います。大抵の場合、集団で知恵を出し合い、協力して目標を達成する。



ペーパータワーの高さを競う

## 平成二十七年 度 神道 青年 全国 協議 会 神宮 研修 会 に 参 加 し て

於 神宮  
北海道神宮 権禰宜 西山 智史

平成二十八年三月十六日～十七日  
神宮会館にて平成二十七年 度 神道  
青年 全国 協議 会 神宮 研修 会 が 開 催 さ  
れました。主管は神道青年東海地区  
協議会により、当会員十名を含む全  
国から約二百四十名が参加致しまし  
た。

主題は「神代在今く神宮の尊さ、  
美しさを守り伝える」神宮の祭儀  
の本質と、先人たちの知恵といった  
不易と流行の両面に亘り、今一度理  
解を深めたいという趣旨のもと、神  
道青年全国協議会長友安隆会長の  
「五感のすべてを開き、すべてを感  
じ取り学んで、それぞれ奉務の地へ  
帰った暁には、氏子崇敬者や神職の  
仲間達へ感じたこと、学んだことを  
伝えて頂きたい。本研修会での体験  
を生涯の宝とすべく共に頑張りま  
しょう。」との挨拶を戴きました。

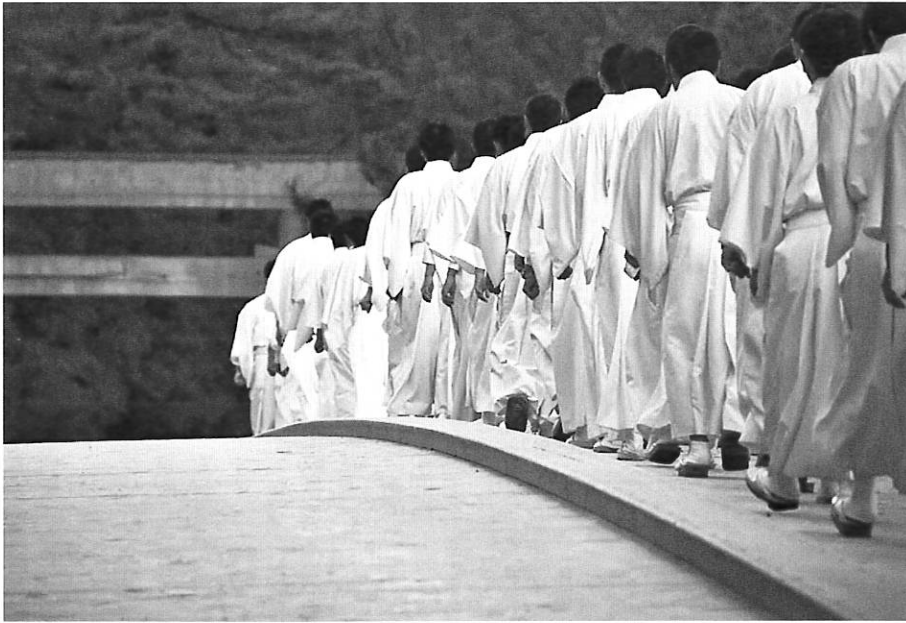
第一講目は祭儀部儀式課長兼神宝  
装束課長、神宮教学課研究員などを  
お務めになられております神宮権禰  
宜吉川竜実氏に「神宮のおまつり」  
神代在今く」と題し、御講義を賜り

ました。講義では神宮の社格は何か  
と聞かれた場合には、天皇御自らお  
祀りされている御宮でありますので  
御親祭の宮と云える。現在、神宮職  
員は六百五十名程いますが、我々の  
立場は天皇陛下から御宮をお預かり  
しているに過ぎない。御垣内の祭典  
全てが天皇陛下からの御許しを得て  
行われております。それは神宮が御  
鎮座してから一貫して変わらず、ま  
さしく不易流行であります。神宮は  
年間千五百回もの祭があり、その祝  
詞の中には皇室の御安泰と日本国家  
の平安を祈る言葉が必ず入っており、  
この二つをひたすら祈り続けるのが  
神宮です。

内宮外宮両御正殿にはそれぞれ東  
の相殿神と西の相殿神も御鎮座され  
ており、大切にお祀りされている事  
も知らなければなりません。

我々日本人が外国の方々に神社に  
ついてお話する時は、神をゴットで  
はなくカミ、神社はシユラインでは  
なくジンジャ、と自信を持って固有  
名詞を使用して大和言葉の大切さを





伝えて行くことが大事であります。神宮神職としての経験、又は自らの神宮祭祀研究による大変貴重な御講義を賜りました。

第二講目は「神宮宮域林について」と題し、森林管理署長などを歴任さ

れ現在、神宮技監神宮司廳宮林部長に就任されております笹岡哲也先生に御講義を賜りました。一度の式年御遷宮に必要な檜木材の量を例える

と、四十坪の面積の家が二百棟建つ

#### 第六十二回式年遷宮では御用材の約二十三日を宮域林の間伐材でまかないました。鎌倉時代より七百年ぶりに宮域林から出た檜木材もありました。檜は一年に約四千本を植樹しております。一般的に使用される木材は百二十年で伐採するところを、神宮では御用材に必要な太さや長さを満たす為

に二百年をかけ、最終的に百本の選りすぐりされた御用材が出来ます。

戦後まで日本

の森林は北海道や一部の奥山を除き荒廃しておりました。その理由として、飛鳥京から平安京へ短期間に行われた遷都、法隆寺から清水寺までの壮大な寺院等の建設ラッシュ、時代は下って巨大城郭や城下町の建設、明治以降になると戦争に使う軍需用材確保の為等でした。現在では国土に占める森林の割合を表す森林率で日本はフィンランドの七十一%、スウェーデンの六十九%に次ぐ六十八%で第三位です。日本は山が険しく牧畜も少ないというところもあり、世界の平均が三十%であり、その倍も高いというのはすごい事です。全国各地では植樹祭を行っておりますが、現在は植樹をする場所を見つけないの大変なほど、日本には樹木が増えております。

戦後、植樹祭には長くも天皇陛下が御親覧あそばされておりますのも日本人が森林を大切にしている大きな理由ではないでしょうか。宮域林では今ある樹木を育てることも重点に置かれております。



開講式の様子

また、式年遷宮に使用される萱葺屋根の萱は伊勢市度会町川口にある萱山で採取され、一度の御遷宮で使用される量は人が抱きついて手が届く太さの萱の束が二万三千束必要である等、宮域林や御用材に関わる歴史、現在、そして未来についてグラフや写真等を使い非常にわかりやすく御講義賜りました。

一日目の講義が終了し、内宮夜間参拝を致しました。その後、御講義を賜りました吉川・笹岡両講師をは

はじめ、御来賓を迎えての懇親会が開催されました。

二日目は内宮への早朝参拝から始まり、講義は六つのグループに分かれて行われました。私のグループのテーマは「迎へ伊勢の神領民取り組み」と題して伊勢市産業観光部参

事の須崎充博様、伊勢市環境協会専務理事の西村純一様、神宮司廳広報室広報課係長の音羽悟主様より伊勢市・伊勢観光協会・神宮司廳広報の活動と関わり合いに関してご説

明戴いた後、パネルディスカッションを行いました。神領民取り組みでは、お白石持ち行事から御遷御の儀までの説明を須崎様より賜りました。市役所・観光協会・商工会議所では一万個ものお白石を集められたそうです。

式年選宮に関しての問い合わせでは関係各所に寄せられたものは五千件以上あり、関心の高さが伺えます。既に次回の式年選宮まで時間は閉き出しております。講師の貴重な

お話を聞きながら少子高齢化の進む中、我々神職は現在どのような対策が出来るのかを考えて行かなければなりません。閉講式では、次回開催される中国地区の皆さんによる宣伝広報があり、

『神道青年の歌』、『美はしき山河』の斉唱の後、聖寿万歳奉唱にて閉式となりました。

本研修会での体験はしっかりと私の中に記憶されております。崇敬者の方々、神職の仲間たちへ少しでもこの感動が伝わるように努めていきたいと思います。



グループごとに分かれての施設拝観



早朝参拝



神宮研修会に参加した道神青協会員

# 「神職有志による沖縄遺骨収集報告」

於 沖縄県

美瑛神社 禰宜 狩野 智也



二日間の収集後ご指導頂いた国吉氏と

昨年十一月十六日〜十七日の二日に渡り、沖縄県糸満市喜屋武地区に於いて神職有志による遺骨収集を行いました。

この収集は、同じく昨年二月に道神青協六十五周年事業として同じ喜屋武地区で遺骨収集が行われた際、ご指導頂いた国吉勇氏より、「同地区の調査許可が来年(平成二十八年)三月迄あるので、是非もう一度来て頂きたい」との要請を受け、神職有志による形で実施したものです。

実施については、日程の設定が悪く、なかなか参加者が集まらず、神青協の役員・次世代委員会の皆様にも案内を行い北海道からは三橋会長

以下六名、神青協佐野巖監事様はじめ次世代委員会二名の参加を頂き総勢九名で行いました。

沖縄には戦後七十年を経過しても三千柱を超える未収容のご遺骨があると云われます(沖縄県発表)。

しかしながら、国直接の遺骨収容事業が沖縄で行われる事はなく、ボランティアによる収集に頼るほかないのが現状です。昨年二月に行われた遺骨収集を経験された方々からも「未だにこんなに沢山のご遺骨があるとは思わなかった。」「もっと進める為に継続事業として定期的に行ってはどうか。」との声を頂きました。

ご承知の通り、沖縄戦に於ける北海道出身の戦歿者は一万柱を超えます。北海道から収集加速の為に声をあげる事も意義のある事ではないかとの思いから、今後の定期化を意識しながら、収集の計画・準備・実施を行いました。

収集の直前、道神青協の大東亜戦争終結七十年事業として北海道護国神社参拝と北鎮記念館の拝観が行われました。その際、北鎮記念館の展示資料から旭川編成の独立速射砲第



遺骨を収集した壕の前で大祓詞奏上後、拝礼

二十二大隊が喜屋武地区で玉砕している事を菅原大記会員が発見し、驚きと共に何らかのご縁を頂いているのではないかと、という思いを抱きながら沖縄に向いました。

収集は両日とも天候に恵まれ、汗だくになりながらの収集となりました。国吉氏、また国吉氏と一緒にボランティアではほぼ毎日収集を行っていた南塾安男氏のご指導を頂き、二月に行った場所より西側、喜屋武小学校に近い場所で収集を行いました。駐車スペース近くの壕は土砂瓦礫の撤去が進み既に遺骨が出てきている場所で、国吉氏が説明しながら特に初めて収集に参加された方にご指導頂きました。

その後、二〜三名に別れ、内二班は、駐車場近くの壕ともう一箇所大きな鍾乳洞になっている壕で収集を実施。残る経験者で編成された一班は、南塾氏と共に、入口が大きな石等で埋



壕内は何十人も入る事が可能なものもある

まっている壕の石の撤去や岩で埋まったり、スペースが狭い等で先に進めない壕内の難しい箇所を切り拓く作業に当たりました。

結果、四柱分の一部のご遺骨や多くの遺品を発見しました。特に駐車場近くの壕では、鍾乳石の下から子供と大人の頭部の骨や歯が発見され、折り重なるように亡くなられた当時を想像し一同涙しました。

今回ご指導頂いた南塾氏は、収集が進まない現状に危機感を持っており、未収容を減らすには多くの人にリピーターになってもらう事が必要との考えから初心者の方の指導にも積極的です。今回の経験を活かし、国吉氏南塾氏のご協力を頂きながら、先ずは次回の開催に向けて努力していきますので、その際には多くの会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

# 〔資料第一〕平成二十七年 度 会 務 報 告

自 平成二十七年四月 一日  
至 平成二十八年三月三十一日

## 道神青協会務

四月一日 於 豊平神社  
■監査会  
(伊部会長・三橋副会長・三橋事務局長・三橋事務局長次長・北方理事・山口監事・狩野顧問)

四月一日 於 豊平神社  
■次世代継承委員予定者会議  
(三橋副会長・武田理事・荻原理事・手塚理事・幕内理事・勝沼理事・垂水委員・大西康会員・山本絃会員)

四月二日

■役員会事前会議 於 北海道神社庁  
(伊部会長・丸井副会長・三橋副会長・三橋事務局長・三橋事務局長次長・北方理事・荻原理事・村井理事・手塚理事・前田理事・勝沼理事・中島徹理事・狩野監事・山口監事・中村実行委員長)

■第二十二回・新年度第一回役員会 於 北海道神社庁

(伊部会長・丸井副会長・三橋副会長・三橋事務局長・三橋事務局長次長・北方理事・武田理事・井上理事・荻原理事・常磐井榮理事・中島英理事・手塚理事・幕内理事・菊池理事・勝沼理事・中島徹理事・山口監事・狩野監事・前田顧問・中村実行委員長)

一、平成二十七年年度一般会計歳入歳出予算案に関する件  
一、新規特別委員会特別会計予算案に関する件  
一、その他

■総会講演会 於 北海道神社庁  
演題「島根神青協の竹島問題の取組」  
講師 島根県神道青年協議会  
前会長 青木 義親様

○出席者 五十六名  
○出席者 五十三名 於 鳥君  
五月十一日

■役員会事前会議 於 北海道神社庁  
(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・北方事務局長・勝沼事務局長次長・三橋理事・瀧川理事・奥野理事・手塚理事・菊池理事・荻原理事・中島監事)

■北海道神宮正式参拝 於 北海道神宮

■第二回役員会 於 北海道神社庁  
(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・北方事務局長・勝沼事務局長次長・三橋理事・尾形理事・山根理事・吉田理事・瀧川理事・島谷内理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・中島監事・伊部顧問・狩野顧問)

■第一回次世代継承委員会 於 北海道神社庁

(三橋会長・手塚委員長・武田副委員長・勝沼幹事・垂水委員・鎌田委員・山本委員・幕内委員)  
■新旧役員合同懇親会  
(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・北方事務局長・勝沼事務局長次長・三橋理事・荻原理事・手塚理事・奥野理事・手塚理事・荻原理事)

務局長次長・三橋理事・濱村理事・山根理事・吉田理事・瀧川理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・中島監事・伊部顧問・狩野顧問・山本委員・幕内委員・井上前理事・中島前理事・山口前監事・中村前実行委員長)

六月一日 於 北海道神社庁  
■第二回次世代継承委員会  
(三橋会長・手塚委員長・武田副委員長・勝沼幹事・垂水委員・鎌田委員・山本委員・幕内委員)

六月二日 於 北海道神社庁  
■役員会事前会議  
(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・北方事務局長・三橋理事・瀧川理事・奥野理事・手塚理事・菊池理事・荻原理事)

■第三回役員会 於 北海道神社庁  
(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局長次長・三橋理事・濱村理事・尾形理事・山根理事・吉田理事・瀧川理事・島谷内理事・奥野理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・伊部顧問)

七月八日 於 北海道神社庁  
■役員会事前会議  
(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局長次長・三橋理事・奥野理事・手塚理事・荻原理事)

■第四回役員会 於 北海道神社庁



（三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・吉田理事・鳥谷内理事・奥野理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・狩野顧問・常磐井研修会実行委員長）

七月三十一日  
**■第三次世代継承委員会**

於 北海道神社庁  
 （三橋会長・手塚委員長・武田副委員長・勝沼幹事・垂水委員・山本委員）

八月十一日  
**■役員会事前会議**

於 北海道神社庁  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・瀧川理事・奥野理事・手塚理事・菊池理事）

**■第五回役員会**

於 北海道神社庁  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・吉田理事・瀧川理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・丸井監事・狩野顧問・常磐井研修会実行委員長）

十月七日  
**■第四次世代継承委員会**

於 豊平神社社務所  
 （手塚委員長・武田副委員長・勝沼幹事・垂水委員・山本委員）

十月八日  
**■道神青協親睦スポーツ大会**

於 オリニピアアボウル  
 （参加者 四十七名）

**■懇親会**

於 札幌第一ホテル  
 （参加者 五十二名）

十月九日  
**■大東亜戦争終結七十年 護国神社参拝**

於 札幌護国神社  
 （参列者 三十五名）

十月九日  
**■第六回役員会**

於 豊平神社社務所  
 （三橋会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・濱村理事・尾形理事・吉田理事・瀧川理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・狩野顧問）

十月二十日  
**■第五次世代継承委員会**

於 豊平神社社務所  
 （手塚委員長・村井副会長・武田副委員長・勝沼幹事・垂水委員・大西委員・山本委員）

十月二十八日  
**■函館八幡宮正式参拝**

於 函館八幡宮  
 （三橋会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・濱村理事・松崎理事・尾形理事・吉田理事・鳥谷内理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・常磐井実行委員長・小坂道南会長）

**■第七回役員会**

於 花菱ホテル  
 （三橋会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・濱村理事・松崎理事・尾形理事・吉田理事・鳥谷内理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・常磐井実行委員長・小坂道南会長）

十月二十八日～二十九日  
**■平成二十七年道神青協研修会**

於 花菱ホテル

受講者 八十名

【主題】『歴史が語るもの』  
 【講師】

・松前城資料館館長 久保 泰 先生  
 ・北海道史研究協議会渡島地区理事 近江 幸雄 先生  
 ・視察研修 亀田八幡宮／箱館奉行所

十月二十九日  
**■大東亜戦争終結七十年 護国神社参拝**

於 函館護国神社  
 （参列者 五十六名）

十一月十日  
**■第八回役員会**

於 北海道護国神社  
 （三橋会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・濱村理事・尾形理事・山根理事・吉田理事・鳥谷内理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・狩野顧問）

**■大東亜戦争終結七十年 北鎮記念館見学 護国神社参拝**

於 北鎮記念館・北海道護国神社  
 （参列者 四十一名）

一月二十五日  
**■役員会事前会議**

於 北海道神社庁  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・瀧川理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・狩野顧問）

**■第九回役員会**

於 北海道神社庁  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・山根理事・瀧川理事・奥野

理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事）

二月十四日  
**■第六回次世代継承委員会**

於 豊平神社社務所  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・手塚委員長・武田副委員長・勝沼幹事・垂水委員・山本委員・幕内委員）

二月十五日  
**■新春研修会**

於 北海道神社庁  
 演題『成果の出る会議の進め方』  
 講師 経営コンサルタント 山田佳代子様

○出席者四十二名  
 ○出席者四十一名

**■懇親会**

於 大助  
 於 ニコリフレ会議室  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・瀧川理事・手塚理事・菊池理事・荻原理事）

**■第十回役員会**

於 ニコリフレ会議室  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・尾形理事・吉田理事・瀧川理事・鳥谷内理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・川島理事・荻原理事・丸井監事・中島監事・狩野顧問）

三月二十二日  
**■役員会事前会議**

於 北海道神社庁  
 （三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事

関係団体行事・出向

事・瀧川理事・手塚理事・菊池理事

■第十一回役員会 於 北海道神社庁

(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局長・勝沼事務局次長・三橋理事・濱村理事・山根理事・吉田理事・瀧川理事・鳥谷内理事・奥野理事・中島大理事・中島英理事・手塚理事・松山理事・菊池理事・荻原理事・丸井監事・狩野顧問)

四月八日

■顧問・長老・参与会 於 明治記念館

(三橋会長)

■神青第一回協涉外委員会 於 明治記念館

(三橋会長)

■神青協第二十一回役員会 於 神社本庁

(伊部顧問・狩野顧問)

■神青協第一回役員会 於 神社本庁

(三橋会長・村井副会長)

■神青協第六十七回定例総会 於 神社本庁

(三橋会長・村井副会長・北方事務局次長・勝沼事務局次長・丸井監事・中島監事・伊部顧問・狩野顧問・月館会員)

■神青協全国会長会 於 神社本庁

(三橋会長・村井副会長)

■北海道選挙対策連絡会 於 北海道神社庁

(中島大理事・村井会員)

■神道青年九州地区総会 於 ホテルニュー長崎

(三橋会長)

■日本会議北海道本部第二回役員会 於 かねて

(北方事務局次長・横井会員)

■神青協役員就任報告参拝 於 神宮

(三橋会長・村井副会長)

■神青協役員就任報告参拝 於 神宮

(三橋会長・村井副会長)

■神青協第二回役員会 於 熱田神宮会館

(三橋会長・村井副会長)

■神青協第一回事業委員会 於 熱田神宮会館

(三橋会長・村井副会長)

■神青協第一回次世代委員会 於 熱田神宮会館

(手塚理事)

■北海道護國神社慰霊大祭 於 北海道護國神社

(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局次長)

■神道青年近畿地区連絡協議会定例総会 於 ホテルグランヴィア和歌山

(三橋会長)

■神青協第二回涉外委員会 於 伊丹市

(三橋会長)

■日本会議北海道本部第三回役員会 於 かねて

(北方事務局次長・狩野顧問・横井会員)

■神青協第三回役員会 於 センターホテル成田

(三橋会長・村井副会長)

■神青協バラオ共和国戦歿者慰霊祭 於 バラオ共和国

(三橋会長・村井副会長)

■神青協第二回次世代委員会 於 神社本庁

(手塚理事)

■神青協遷宮委員会奉告参拝 於 神宮

(三橋会長・村井副会長・中村文会員)

■神青協第四回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■留萌三船殉難慰霊祭 於 留萌市

(三橋会長・村井副会長・三橋副会長・枝廣副会長・北方事務局次長・奥野理事・中島大理事・荻原理事・狩野顧問・後藤尚会員・佐藤元会員・井上篤会員・斎藤豪会員・鎌田孝会員)

■神青協第三回事業委員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第四回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第五回役員会 於 神社本庁

(三橋会長)

(三橋会長・村井副会長)

■神青協夏期セミナー 於 神社本庁・靖國神社

(三橋会長・村井副会長・濱田会員)

■神青協第四回事業委員会 於 神社本庁

(三橋会長)

■神青協第四回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)

■神青協第六回役員会 於 かねて

(三橋会長)



■神青協第七回役員会 於 神社本庁  
 (三橋会長・村井副会長)  
 一月十八日  
 ■第十回日本会議北海道本部役員会  
 於 かでる2・7  
 (横井会員)  
 一月二十八日

■神青協第八回役員会 於 神社本庁  
 (三橋会長・村井副会長)  
 二月八日

■神青協第六回事業委員会  
 於 神社本庁  
 (菊池理事)  
 二十三日

■神青協第九回役員会  
 於 日本文化興隆財団  
 (三橋会長・村井副会長)  
 三月四日

■神青協第三回涉外委員会  
 於 神社本庁  
 (三橋会長)  
 十五日

■神青協第十回役員会 於 神宮会館  
 (三橋会長・村井副会長)  
 十六日

■神青協第七回事業委員会  
 於 神宮会館  
 (菊池理事)

■猿田彦神社正式参拝 於 猿田彦神社  
 (三橋副会長・北方事務局長・  
 勝沼事務局次長・荻原理事・中  
 島監事・西山会員・横井会員・  
 加藤会員)

三月十六日・十七日  
 ■神青協神宮研修会 於 神宮会館  
 (三橋会長・三橋副会長・北方  
 事務局長・勝沼事務局次長・菊  
 池理事・荻原理事・中島監事・  
 西山会員・横井会員・加藤会員)

# 平成二十七年度 協賛神社一覽

## 【札幌】

北海道神宮・豊平神社・札幌諏訪神

社・札幌村神社・彌彦神社・信濃神

社・札幌護国神社・篠路神社・琴似

神社・発寒神社・江南神社・新琴似

神社・手稲神社・西野神社・相馬神

社・厚別神社・大谷地神社・白石神

社・廣島神社・江別神社・錦山天満

宮・石狩八幡神社・当別神社・厚田

神社・豊栄神社・千歳神社・上手稲

神社・烈々布神社・西岡八幡宮・新

川皇大神社・石山神社・札幌祖霊神

社・星置神社・南線神社

【道南】

函館八幡宮・亀田八幡宮・湯倉神

社・船魂神社・福島大神宮・尻岸内

八幡神社・鹿部稻荷神社・八幡神

社・嚴島神社・石崎地主海神社・七

重浜海津見神社・一本栗地主神社・

砂原稻荷神社・意富比神社・上磯八

幡宮・雷公神社

【檜山】

神社庁檜山支部

【後志】

住吉神社・龍宮神社・小樽稻荷神

社・天満宮・潮見ヶ岡神社・豊足神

社・高島稻荷神社・余市神社・仁木  
 神社・赤井川神社・美國神社・泊稻  
 荷神社・岩内神社・小沢神社・俱知  
 安神社・京極八幡神社・喜茂別神  
 社・留寿都神社・真狩神社・狩太神  
 社・八幡神社・大鳥神社・壽都神社

## 【空知】

夕張神社・岩見沢神社・空知神社・

南幌神社・市来知神社・滝川神社・

空知沿岸交通神社・江部乙神社・赤

平神社・出雲神社・由仁神社・長沼

神社・樺戸神社・新十津川神社・芽

生神社・秩父神社・雨竜神社・沼田

神社

【上川】

鷹栖神社・旭川神社・上川神社・東

神楽神社・神居神社・永山神社・當

麻神社・比布神社・大上川神社・東

川神社・美瑛神社・中富良野神社・

富良野神社・山部神社・和寒神社・

剣淵神社・士別神社・風連神社・下

川神社・中川神社・北海道護国神社

【留萌】

苦前神社

【宗谷】

北門神社・浜頓別神社・枝幸嚴島神

社・豊富八幡神社・歌登八幡神社・

礼文嚴島神社・北見富士神社

【網走】

網走神社・北見神社・女満別神社・

美幌神社・津別神社・斜里神社・清

里神社・小清水神社・端野神社・訓  
 子府神社・置戸神社・留辺蘂神社・  
 常呂神社・上常呂神社・相内神社

## 【紋別】

嚴島神社・滝上神社・興部神社

【胆振】

室蘭八幡宮・中嶋神社・本輪西八幡

神社・樽前山神社・恵比須神社・伊

達神社・壮瞥神社・虻田稻荷神社・

豊浦神社・刈田神社・白老八幡神

社・追分八幡神社・早来神社・厚真

神社・鷓川神社

【日高】

義經神社・大神宮社・水川神社・静

内神社・三石神社・浦河神社・様似

住吉神社・住吉神社

【十勝】

帶廣神社・大正神社・川西神社・芽

室神社・御影神社・清水神社・新得

神社・鹿追神社・土幌神社・上土幌

神社・音更神社・札内神社・池田神

社・陸別神社・本別神社・足寄神

社・浦幌神社・十勝神社・大樹神

社・茂岩神社・幕別神社

【釧路】

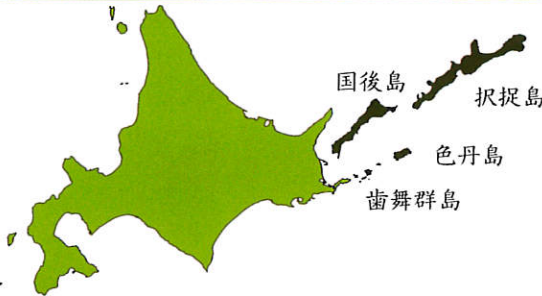
嚴島神社・三吉神社・鳥取神社・昆

布森神社・厚岸神社・霧多布神社・  
 川上神社・弟子屈神社・阿寒神社・  
 白糠嚴島神社・厚岸真龍神社

【根室】  
 金刀比羅神社

サイズ 86mm×57mm (実物大)

ここも  日本



北方領土は日本固有の領土です

頒価 1枚100円

(送料 82円 ※5枚以上送料無料)

詳しくは道神青協事務局まで

北海道神道青年協議会事業頒布品  
「北方領土啓発ステッカー」のご案内  
我が国固有の領土である北方領土。不当に占拠されてより七十年が経とうとしておりますが、いまだ解決に向けての道筋さえ見えません。  
尖閣、竹島に目がいきがちな昨今ですが、北方領土にも関心を持つてほしいとの思いから、ステッカーを製作いたしました。  
耐水・耐候性があり屋外掲示が可能ですので、車をはじめ、様々な場所に貼ることが出来ます。是非ご利用くださいますようお願いいたします。

北海道神道青年協議会

事業品

「北海道の御朱印帳」の

ご案内

北海道神道青年協議会から千島桜が織り込まれた「北海道の御朱印帳」を謹製致しました。

御参拝の手引きとして活用できる「北海道の神社名簿冊子」を付属しております。

北海道の御朱印帳 (北海道の神社名簿付き)

頒価 一〇〇〇円 (送料別)



御朱印帳

詳しくは道神青協事務局まで

編集後記

この度は道神青協通信第六十五号発刊にあたり社務御多忙の中、御寄稿頂きました会員の皆様、編集の御協力頂いた皆様、心より厚く御禮申し上げます。

大東亜戦争終結七十年英霊顕彰事業、次世代継承委員会設立を終えて三橋体制が一年を過ぎました。これからも会員相互のより強い結束で道神青協活動を益々活性化させて行く事と考えております。

諸先輩方々を始め、ご関係者のご支援と御協力の程、よろしくお願い申し上げます。  
(中島英)

題字『道神青』について

本通信は、平成四年二月一日創刊に当たり、当時の中野尹亮北海道神社庁々長に御揮毫戴いたものです。

北海道神道青年協議会事務局

諏訪神社社務所内

電話 〇一一七一一〇九六〇

FAX 〇一一七四一一五四三〇

HP http://www.doshinsei.jp/

E-Mail info@doshinsei.jp